

A Brief Note No. 202

発行日：2010年6月11日

U.S.A バイクツーリング 1800Km

横浜市 吉田 博至

70歳記念で買ったハーレーダビッドソン・バイクが縁で横浜のハーレー仲間10名とラスベガスを起点に1800Km走破する計画が浮上、メンバーの最高齢者として参加した。出発は5月23日、ロスアンゼルスからレンタルバスでラスベガスに入り、その日のうちにハーレーの大型バイク(1600cc)を借りてラスベガス市内を試運転したが、雨が降り出したため、早々に切り上げてホテルに入り、プールで泳いで往路の疲れを紛らわせた。

翌日は快晴、フリーウェイ15号線を北東に走行、時速70~80マイル(110~135Km/H)でフーバーダム、レイクミード、バレーオブファイヤーに向かう。風圧がすごく手に力が入る。

フリーウェイを抜けると時速50~60マイル走行になるので楽チン。雄大な景観を楽しみ、スプリング・デールのホテルにチェックイン。この日は約400Kmの走行、ホテルのジャグジーが快く疲れを癒してくれた。

先導してくれるツアー会社のライトバンに全ての荷物を積み、無線機でそれぞれのバイクに指示や道路状況の説明、観光案内がされるので安心して運転に専念できる。

2日目はいよいよザイオン国立公園を経てモニュメントバレーに向かう。地平線に続く真っ直ぐな道、車が少ないので、片側1車線を時速100~120Km走行するが、平原は横風が強く、バイクが振られ、突風が来ると、ヘルメットの頭がよじれる。しかしフルオープンバイクの爽快感は風の苦難に勝り、この上も無い満足感が残る。この日はメキシカンハット(岩山の形がメキシコ帽に似ている)のモーターに宿泊。走行480Km。



(時々、給油するが、1ガロン(4L)3US\$前後、リッター約70円である)

3日目は早朝モニュメントバレーの日の出を観に行った後、



8時にグランドキャニオンに向かって出発。

壮絶な風景を見ながら、真っ直ぐな道をひたすら走った。途中、次の信号までフリー走行してください。という指示が来て、次の信号まで80マイルあるので、そこで集合してくださいという。なんて広いのだ、地道なのに次の信号が120Kmも先だとは！ここでは皆がすっ飛ばすので、年齢を忘れて実に時速95マイル(150Km)まで出した。さすがに時速100マイルは足が風圧で持っていかれそうでは出せなかった。グランドキャニオンは2回目だったが、以前と変わりなくその雄大な風景を堪能した。途中、世界一周を目指しているキャンピングカーのドイツ人夫婦、ハーレーバイクでアメリカを旅している夫婦、ドデカイキャンピングカーにハーレーバイクを積んでいる老夫婦などに逢ったが、みんな人生を楽しんでいる羨ましい人々であった。

昼食を済ませて、グランドキャニオンを出発、ルート66の町ウィリアムスに向かう。やはりフリー走行、2台ずつペアで州道64を南へ、このころから手の指の疲れがひどくなり、スロットルを握る指が利きにくくなったので、手のひらでコントロールするようにして、何とかセリグマンのモーターにたどり着いた。こんなに指が疲れるとは予想外で皆に言うと、力を入れすぎだといい、手のひらを使って指は極力使わないことだという。走行470Km



月を背後に、ROUTE66のモーテルで休んでいるバイク
ハーレーでは一番大きい1600ccのヘリテージ・ソフテイル・クラシック

この日の夕食は豚のリブステーキ、巨大な塊が出てきて、飲み物含めて20\$、安い！うまい！さて、4日目ツーリング最終日はルート66を経た後、ラスベガスに戻る450Km、朝食を近くのカフェで済まし、8時出発。途中線路沿いの道路を時々、列車と併走しながら時速60マイル前後で走る。

今日は指を極力使わないで手のひらでスピードをコントロールする。しかし、疲れが出てきたのかセンターラインが二重に見え出した、気がつくとも周囲の風景も二重だ。ツアーガイドに相談してカフェイン錠を飲み休息、何とか回復した。

ルート66の難所であるガードレールもない山岳地帯をくねくねと抜けたが、途中、車が谷に落ちているのが見えた。オートマンからラフリンへ向かったが、ラフリンで西部劇のショーを路上でやっている、

道路封鎖していた。やむなくショーを見て時間を浪費、バイクの返却時間午後4時が気になりだした。

最後はフリーウェイ15号線でラスベガスへ、15号線は交通量が多く、皆スピードを出している。ツアーガイドが気合を入れて走ってくれ、と言って走り出したが、車が割り込むのでバラバラになって来た。無線を頼りに車線を変えたり、追い越したりしながら、やっとフリーウェイの出口を出た。あとはバイクを返却するだけ。満タンにして返却するのだが、一人がバイクのKEYを紛失していてガソリンキャップが開かない。エンジンは掛かるので、そのままバイクを返却。紛失KEYの弁償で200\$を支払ったそうである。

まあ、何事も無く、これくらいで済んで上々である。最終日は450Kmの走行。総計約1800Km

初日のフーターズカジノホテルに戻り休息。ショートパンツのかわいいウエイトレスがいるレストランで夕食をとり、バタンキューと眠ってしまった。

翌日は終日フリータイム。午前中はハーレーダビットソンの店に買い物に行き、CAFÉで昼食をした。

この店に展示してあるハーレーバイクのタクシーを見た。ガソリンタンクに初乗りが2 \$・・・と描いてある。荷物が載らないのに・・・乗る人がいたのかな？



午後は町を散策、夕食で打ち上げ会をやり、ラスベガスタワー（350m）に登った。夜景のすばらしさに見とれていると。すぐ近くでバンジージャンプをやっているではないか！若い女性が飛び降りた！

バイクに乗れても私には無理・・・と思った。

翌朝、4時起きで空路、ロス経由で成田へ・・・無事帰国してほっとするが、手の指と時差ぼけが回復するのに3日掛かった。

尚、今回のツーリングには雑誌記者兼カメラマン1名が同行して取材、バイク雑誌のビッグマシン（7月15日発売）に掲載される予定です。

以上